<u>No. 100</u> 東北森林管理局

取 組 名	国有林材の安定供給システムを活用した資材の供給(継続)
流域名	庄内流域
森林管理署名	庄内森林管理署
実施箇所及び 実施日	庄内森林管理署管内 平成23年5月~平成24年2月
取組の背景及 び必要性	素材の安定供給システム販売により、製材業者や合板工場に安定的な木材の供給を行い林業の活性化を図る。
取組の内容	【これまでの取組内容】 平成17年度から安定供給システム販売による供給を開始しており、年々協定締結業者も増加するとともに県外への販売も拡大してきている。
	【平成23年度の取組内容】 県内外の5業者と9,100m³の協定を締結し、販売を推進 しており、国有林材の安定供給に向けた取組を展開した。
国有林担当 部局・役割	庄内森林管理署、局販売課
連携協働相 手先・役割	林業事業体、大規模合板工場等 (資材の安定確保による販路の拡大)
取組の結果、 反響、今後の 課題等	計画的な素材生産事業を展開することにより、より一層の販路拡大や国産材の需要拡大に貢献できるものと考えている。
PRの実施状 況及びその期 待する効果	東北森林管理局・署ホームページ、秋田木材通信に掲載する とともに、関係業者等に対して周知等を行ったことなどにより 販売促進が図られた。

取 組 名 国有林材の安定供給システムを活用した資材の供給



搬出状況 (鶴岡市羽黒町東増川国有林44林班く小班)



林業機械による作業システム ((東増川国有林44林班や小班))

<u>No. 101</u> 東北森林管理局

取 組 名	フェスティバルへの参加 (継続)
流 域 名	庄内流域
森林管理署名	庄内森林管理署
実施箇所及び 実施日	鶴岡会場(鶴岡市小真木原町)平成23年10月15(土)~ 16日(日) 酒田会場(酒田市中町) 平成23年10月23日(日)
取組の背景及 び必要性	地域で開催されるイベントに参加し、木工品の販売やパネル 展示により国有林の広報活動と木材利用の推進を図る。
取組の内容	【これまでの取組内容】 平成2年度の開始時から参加しており、これまでもブースを 設置し地域住民に対して、木材製品の良さや国有林の公益性等 の広報活動を展開してきた。
	【平成23年度の取組内容】 職員手作りの木製品の展示販売と治山工事等のパネルを展示 して、木材の利用拡大と国有林の公益性についての宣伝を実施 した。
国有林担当 部局・役割	庄内森林管理署 (国有林ブースの設置)
連携協働相 手先・役割	庄内森とみどりのフェスティバル実行委員会 (関係団体への参加要請、参加体制づくり及び広報活動)
取組の結果、 反響、今後の 課題等	木製品の展示販売は市民から好評を博しており、国有林ブースには大勢の来客があったことから、国有林のパンフレット等を持ち帰る人も多く、宣伝効果は高かったものと判断している。
PRの実施状 況及びその期 待する効果	今後の課題として、今までテント等は持参して組み立てていたが、参加団体が増加し木製品の搬入等の運搬に時間を要することから、今後は実行委員会のテント借入れ(リース)により対応することを検討している。

取 組 名 フェスティバルへの参加



フェステバル会場に設置した国有林ブース (鶴岡市小真木原町)

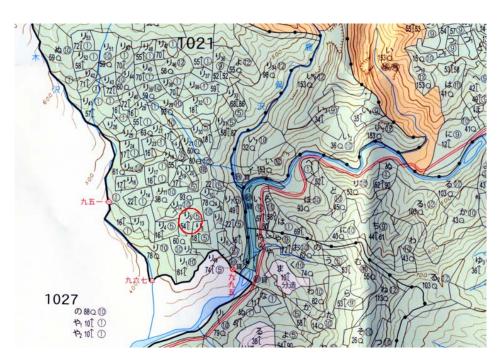


市民に人気を博した木製品の販売 (鶴岡市小真木原町)

No. 102 東北森林管理局

157 20 20	なる板の生自理控に刑害した木井坎栗炒針へ(炒佐)
取 組 名	猛禽類の生息環境に配慮した森林施業検討会(継続)
流 域 名	庄内流域
森林管理署名	庄内森林管理署
実施箇所及び 実施日	開催なし
取組の背景及 び必要性	猛禽類の生息する地域において、採餌を容易にするための手 法として列状間伐による森林施業を検討する。
取組の内容	【これまでの取組内容】 平成17年度より鳥海山において列状間伐を実施し、その後 に刈り払いやモニタリング調査を行い実施効果を調査してきた が、平成23年度で計画が終了することになっている。
	【平成23年度の取組内容】 これまでの実行結果を現地で検証するために、検討会を開催 すべく関係団体と日程や開催方法等について調整を実施した が、調整がつかず開催できなかった。
国有林担当 部局・役割	庄内森林管理署、局計画課、局指導普及課 (現地検討会の企画立案、普及活動)
連携協働相 手先・役割	環境省猛禽類保護センター、酒田市、野鳥の会、山岳会、林 業事業体、山形大学
取組の結果、 反響、今後の 課題等	23年度に取り纏めのイヌワシ希少野生動植物保護管理対策調査の報告を受けて、今後の森林施業を検討する。
PRの実施状 況及びその期 待する効果	同上

取 組 名 猛禽類の生息環境に配慮した森林施業検討会



位置図 (酒田市奥山国有林1021林班り3小班)

<u>No. 103</u> 東北森林管理局

取 組 名	ボランティアと連携した海岸林の保全管理(継続)
流域名	庄内流域
森林管理署名	庄内森林管理署
実施箇所及び 実施日	生内海岸砂防林一帯(194林班・1122~1142林班) 4月10日(日)~3月24日(土)
取組の背景及 び必要性	森林環境保全や体験林業等の活動に国有林をフィールドとして 提供すると共に、必要に応じて用具の貸出しや指導を行うこと により森林ボランティア活動の推進を図る。
取組の内容	【これまでの取組内容】 庄内海岸をフィールドとして活動しているNPO、森林ボランティア団体、地元行政機関等と連携して、海岸林の保全活動に取り組んでおり、用具の貸出や技術指導を実施してきた。 【平成23年度の取組内容】 庄内海岸林の保全活動において、各団体や市民参加のイベントに参加するとともに、体験林業や森林環境教育等において講師を務めるなどの支援活動を実施した。
国有林担当 部局・役割	業務課 森林ふれあい係 (器材の準備、作業地の調整、作業内容のアドバイス等)
連携協働相 手先・役割	山形県庄内総合支庁、鶴岡市、酒田市、NPO、各学校 (市広報紙・マスコミによる周知、準備、枝条等の処理)
取組の結果、 反響、今後の 課題等	クロマツ林内への侵入広葉樹の除去やニセアカシアの繁殖防止等への対策を求める声が森林保全活動において高まっており、今後の課題となっている。
PRの実施状 況及びその期 待する効果	活動がマスコミ、市報、機関紙等に掲載されており、一般住民からも活動に対する理解が高まっており、新たに参加者も増えている。

取 組 名 ボランティアと連携した海岸林の保全管理





遊佐町立遊佐中学校生徒による砂防林整備体験学習(遊町吹酒/與盾株) 生徒159人・支援団体55名 【平成23年10月12日実施】

No. 104 東北森林管理局

取 組 名	「遊々の森」における体験林業等の実施(継続)
流 域 名	庄内流域
森林管理署名	庄内森林管理署
実施箇所及び 実施日	「しんちゃんの森」西荒瀬保育園 4月~3月 森林環境教育「わくわくの森」 羽黒第二小学校 9月28日 森林体験活動
取組の背景及 び必要性	協定締結による国民参加の森づくりを推進するために、協定締 結団体を対象として体験林業や森林環境教育を指導する。
取組の内容	【これまでの取組内容】 協定を締結している団体等からの要請に応じて、体験林業や森林環境教育を指導するなどの支援を実施してきた。 【平成23年度の取組内容】 これまで同様に協定締結団体の支援を実施するとともに、酒田市立松陵小学校と新たに協定を締結するなど活動の場を拡大して体験林業や森林環境教育の指導を行った。
国有林担当 部局·役割	業務課 経営係、森林ふれあい係、森林育成係 (体験学習の指導、器材貸与)
連携協働相 手先・役割	羽黒第二小、湯野浜小、西荒瀬保育園、松陵小学校、NPO、 地元ボランティア団体等
取組の結果、 反響、今後の 課題等	地元で開催された報告会やシンポジウム等で活動の成果が好評だったことから、「協定締結による国民参加の森林づくり」が注目され、問い合わせ等が増加している。
PRの実施状 況及びその期 待する効果	主宰する協定締結団体が実施する内容なので、特にPR等は 実施しなかったが、活動が新聞等に取り上げられたことから、 協定による森林づくりの宣伝効果は上がったものと思われる。

取 組 名 「遊々の森」における体験林業等の実施



西荒瀬保育園児による森林環境教育クロマツ探検隊 (酒曲店編新相互称) 園児25人・保育士2名 【平成23年5月18日実施】



酒田市立松陵小学校生徒による森林環境教室 巣箱作り・設置(酒町枠園類株) 生徒47人・支援団体13名 【平成23年11月25日実施】